Webex Meetingsの機能解決XML API設定のリセットによる統合OAuthの失敗の自動化

内容

問題

Microsoft Power AutomateをMicrosoft BookingsとWebex Meetingsを統合しようとすると、OAuth認証プロセスが一貫して失敗します。統合を試行すると、複数の特定のエラーメッセージが表示されます。

- Cisco Webex Meetingsアイコンの横のMicrosoftテナントに「Create and authorize OAuth connection failed」と表示される
- Cisco Webex Meetingsアイコンの横に「Cisco Webex Meetings：無効な接続」と表示される
- OAuth接続の作成に失敗しました： ClientError: Unsupported client」がPower Automateテナント内の[Create a new connection]セクションに表示される

ログインポップアップでプロンプトが表示されると、ユーザはWebexへの認証に成功しますが、統合プロセスは認証ステップを過ぎると進行しません。HARログには、設定グループ「PAutoModernLeftNavToolbox_prod」の「NonExistentSettingGroup」を示す応答を含むHTTP 404エラーが表示されます。

環境

- Control Hub管理を備えたWebEx Meetingsスイート
- Microsoft Power自動統合
- Microsoft予約サービス
- Control Hubで管理するWebExサイト
- Control Hubで有効なXML API統合設定

- 新しい実装の試み（初回のセットアップ）

解決方法

この問題は、Webex Control HubのXML API統合設定をリセットすることで解決しました。この統合では、キャッシュされた認証トークンをクリアするためにXML API設定を更新する必要があるレガシー認証メカニズムを使用します。

OAuth統合の失敗を解決する手順

ステップ1:Control HubのXML API設定に移動します。

Control Hub > Meetings > Select the Meeting Site > Common Settings > Site Optionsの順に移動します。

ステップ2:XML API統合設定を見つける

「Enable third-party apps and developers to integrate with Webex Meetings using XML APIs」という名前の設定を検索します。

ステップ3:XML API設定を無効にする

XML API設定をオフにして、設定を保存します。

ステップ4:XML API設定の再有効化

XML APIの設定をオンに戻し、設定を再度保存します。

ステップ5：キャッシュの有効期限を待つ

古い設定キャッシュが期限切れになるまで10分待ちます。

ステップ6:Power Automate統合を再試行します

Microsoft Power AutomateとWebex Meetingsの統合を再試行してください。

別のトラブルシューティング手順（解決できない場合）

XML APIをリセットしても問題が解決しない場合は、ネイティブのWebex OAuthログインアプローチを試してください。

手順1：既存の接続を削除する

Power Automateで、Home Page > More > Connectionsの順に移動し、古い接続や失敗したCisco Webex Meetings接続を削除します。

手順2：ブラウザデータをクリアする

ブラウザのキャッシュをクリアするか、InPrivate/Incognitoモードを使用します。

ステップ3：シスコアカウントで新しい接続を作成する

新しい接続を追加し、Cisco Webexアカウントのクレデンシャルを使用してサインインします（Microsoft認証オプションは使用しないでください）。

ステップ4：認証プロセスの完了

プロンプトが表示されたら、Webexサイトを選択し、必要な権限を受け入れます。

ステップ5：接続ステータスの確認

接続インジケータが赤（失敗）ではなく緑（成功）になっていることを確認します。

原因

この統合では、Azure AD OAuthを介してユーザーを認証する従来のポータル前認証メカニズムを使用し、それらのAzure ADトークンをトークンの種類がwebex_oauthヘッダーのWebex Meetings APIに渡します。Webex Meetings Gatewayはこれらのトークンを受け入れ、検証します。これは、Webex Developer Portal OAuthクライアントサポートを直接使用する最新のWebex統合とは異なります。

XML API統合設定キャッシュが古くなったり破損したりすると、OAuth接続エラーが発生し、Microsoft Power AutomateとWebex Meetings Gateway間のトークン検証が正しく行われません。設定をリセットすると、認証設定が強制的に更新され、統合障害の原因となる可能性があるキャッシュされた認証状態がすべてクリアされます。

関連コンテンツ

- Cisco Webex Meetings for Microsoft Power Automate

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。